

第140回(令和7年2月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分CO	長整数型	1
	区分名	テキスト型	衣服費

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

支出テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	支出CO	長整数型	11
	区分CO	長整数型	3
	金額	長整数型	900
	支払日	日付/時刻型	2025/1/15

<処理条件>

金額が2,000円以上の支出一覧表を作成する。

- それぞれの区分COを関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

金額が2,000以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6件]

- 表を作成しなさい。

表題は“支出一覧表（2,000円以上）”とする。

支払日は年月日の表示であれば形式は問わない。

データの並び順は金額の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

支出一覧表（2,000円以上）			
支出CO	区分名	金額	支払日
28	娯楽費	10,000	2025/01/25
	}		
33	衣服費	2,000	2025/01/28

第 1 4 0 回(令和 7 年 2 月)情報処理技能検定試験(データベース) 3 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB3 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

旅行先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	旅行 C O	長整数型	100
	旅行先	テキスト型	北海道
	旅行料金	長整数型	30000

※旅行先マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

追加プランマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	追加プラン C O	長整数型	10
	追加プラン	テキスト型	クーポン
	追加プラン料金	長整数型	500

※追加プランマスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

申込テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	申込 C O	長整数型	1001
	名前	テキスト型	岡島 奏斗
	旅行 C O	長整数型	800
	人数	長整数型	5
	追加プラン C O	長整数型	20

<処理条件>

請求金額が 3 万円以下の申込一覧表を作成する。

- それぞれの旅行 C O・追加プラン C Oを関連付けしなさい。

申込 C Oごとに請求金額を求めなさい。

請求金額 = (旅行料金 + 追加プラン料金) × 人数

請求金額が 30,000 以下を抽出しなさい。

[処理結果件数：6 件]

- 請求金額の平均を求めた表を作成しなさい。

表題は“申込一覧表（3 万円以下）”とする。

データの並び順は請求金額の降順とする。

平均は整数未満四捨五入の表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

申込一覧表（3 万円以下）						
申込 C O	名前	旅行先	追加プラン	人数	請求金額	
1061	難波 大地	中部	貸切露天風呂	2	30,000	
			}			
1049	山口 大空	近畿	クルーズ	1	22,500	
平 均					XX,XXX	

第140回(令和7年2月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	黒田 明子
	地区CO	長整数型	3
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.1

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

地区マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	地区CO	長整数型	1
	地区名	テキスト型	大浜

※地区マスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品CO	長整数型	1001
	商品名	テキスト型	豚肉バラ
	単価	長整数型	230
	区分CO	長整数型	10

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

受注テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	受注日	日付/時刻型	2024/12/3
○	商品CO	長整数型	1077
	数量	長整数型	1

<処理条件>

割引率を更新し、地区別合計売上額一覧表を作成する。

- <顧客マスタ>の割引率が0.1のレコードの割引率を0.2に更新しなさい。
[更新件数：18件]
- <受注テーブル>・<顧客マスタ>・<商品マスタ>の顧客CO・商品COを関連付けしなさい。
顧客CO・受注日・商品COごとに売上額を求めなさい。
売上額=単価×数量×(1-割引率)
受注日が2025/1/1以降を抽出しなさい。
[処理結果件数：319件]
- <処理条件>2.の結果と<地区マスタ>の地区COを関連付けしなさい。
地区CO・地区名ごとに商品COを集計(カウント)し、売上額を集計(合計)しなさい。
商品COの集計は“受注件数”、売上額の集計は“合計売上額”とする。
受注件数が40以下を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“地区別合計売上額一覧表(40件以下)”とする。
データの並び順は合計売上額の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

地区別合計売上額一覧表(40件以下)

地区CO	地区名	受注件数	合計売上額
8	小杉	34	293,796
		}	
6	美原	23	48,303

第140回(令和7年2月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	ラベルシール
	単価	長整数型	400
	仕入先C O	長整数型	3

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

仕入先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	仕入先C O	長整数型	1
	仕入先名	テキスト型	ダイワ商事
	担当者名	テキスト型	岩間 葉子

※仕入先マスタ.csvの1行目は項目名とする。

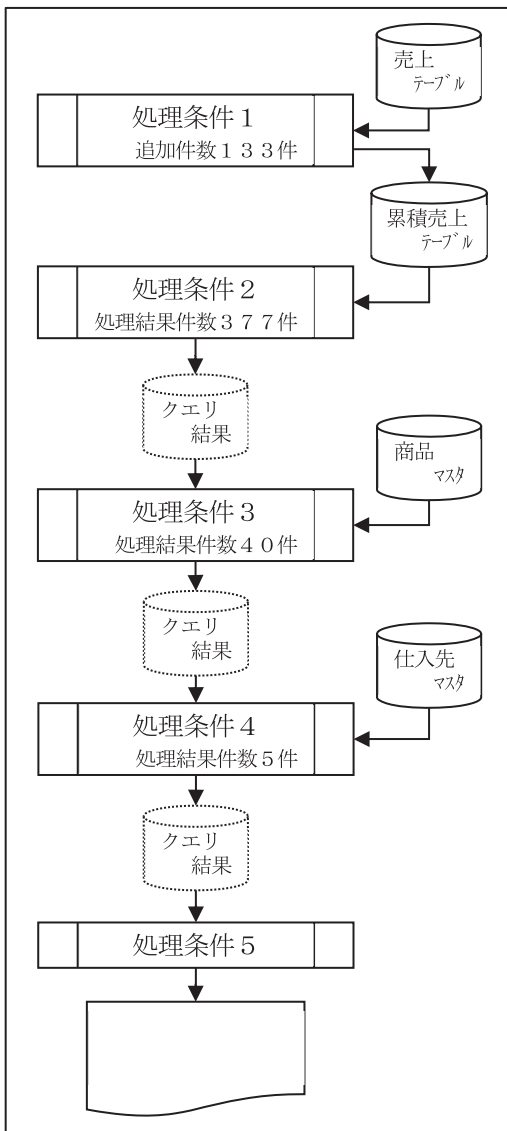
売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	12
○	売上日	日付/時刻型	2025/1/10
○	商品C O	長整数型	225
	数量	長整数型	36

累積売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	11
○	売上日	日付/時刻型	2024/4/6
○	商品C O	長整数型	246
	数量	長整数型	33

<処理フロー>



<処理条件>

1月の売上を追加し、3か月間売上のない仕入先別平均単価一覧表を作成する。

- すべてのレコードを<累積売上テーブル>に追加する。
- 売上日が2024/11/1から2025/1/31までを抽出する。
- <商品マスタ>を基準に商品C Oを比較し、一致しないデータを抽出する。
- 仕入先C O・仕入先名ごとに商品C Oを集計（カウント）し、単価を集計（平均）する。
商品C Oの集計は“アイテム数”とし、単価の集計は“平均単価”とする。
アイテム数が5以上を抽出する。
- 表を作成する。
表題は“仕入先別平均単価一覧表（3か月間未購入）”とする。
データの並び順は平均単価の降順とし、平均単価は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

仕入先別平均単価一覧表（3か月間未購入）			
仕入先C O	仕入先名	アイテム数	平均単価
6	サクセス	5	1,060
	}		
4	アライブ	6	143